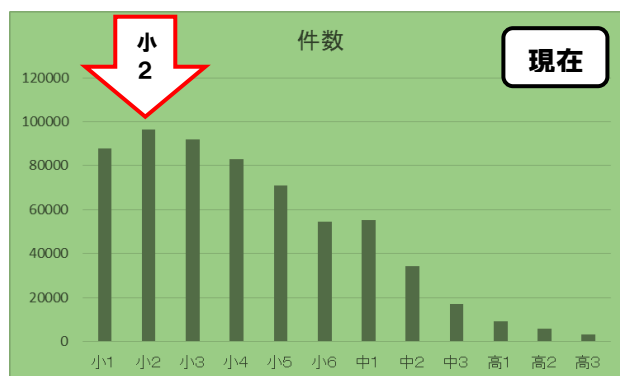
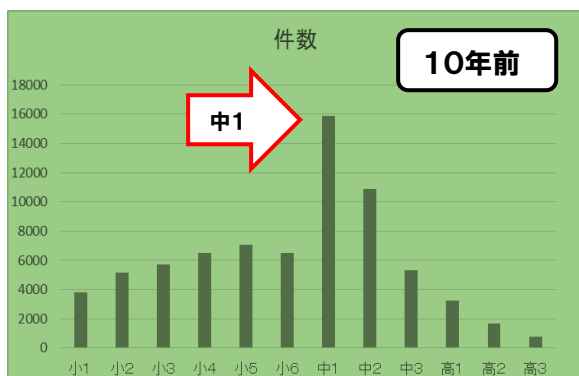


## いじめのピーク

『不登校新聞』編集長  
石井志昂 氏の記事より



国の調査を見ると、10年前の学年別のいじめ件数は、中学校1年生がピークでした。ところが現在のいじめ件数のピークは小学校2年生です。さらに言えば学年別のトップ3は小学校1年生から3年生が占めるなど、いじめの低年齢化は顕著です。

低年齢化の問題は、子どもが小さいころからいじめで苦しむという事実にとどまらず、親や先生が「子どものやったことだから」「悪ふざけだから」と、その被害を軽視してSOSを見逃しがちになることも大きな問題と言えます。なぜそうなったのか、専門家の意見を総合すると、1つ目の要因は調査の定義が変わり、ひやかしや悪ふざけを報告することになったことです。2つ目の要因は実際に小学校低学年のいじめが増えたことです。

西野博之さん（フリースペースたまりば代表）によれば・・・

いじめが増えたのは子どもの性格が悪くなったわけではなく「小さいころからストレスを溜めこむ子が増えたから」だと指摘しています。その背景にあるのが早期教育。幼稚園や保育園のころから、学校に適應するための教育が盛んになり、手遅れにならないようにと習い事を掛け持ちする子が増えてきたのです。最近は特に教育の前倒しが進んでおり「子どもたちの生きづらさはピークに達している」

30年にわたり、小学校教員を務めてきた先生も・・・

「子どもたちが苦しそう」チャイムが鳴る前に座る、私語禁止の給食、班ごとに決めたルールを守らせるなど「子どもたちに求められる規範意識は年々、高くなってきていて、子どもがすごく息苦しそう」。高い意識を求められた子どもたちは、表面上は「よい子」や「問題のない子」に見えるものの、仲間内で暴力が横行してしまう、あるいは、ごく少数の子がそのストレスを爆発させてしまう。

とされています。

いじめを受け続けて身に着くのは、学力や社会性ではありません。憎しみや自己否定感です。親や先生に訴えても、救ってくれなかったという不信感です。私はたくさんのいじめ経験者に取材してきましたが、避難が早かった人ほど、心の回復は早い傾向にありました。

いじめの低年齢化をどのように解決するか。浅口市の取り組みの一部を次ページで紹介します。

## ～いじめについて考える週間～

新学期がスタートして2ヶ月が経過する6月は、不登校が増えやすい傾向にあるそうです。要因のひとつはいじめです。この時期は新しい環境にも慣れ、子どもたちが活発に動き始め、人間関係のトラブルが起きやすい時期となるからです。そこで、岡山県内でも各小中学校において「いじめについて考える週間」を設定し、いじめの未然防止に努めています。

浅口市の小中学校では6月7日～11日を中心に、この取り組みを行いました。小学校では友だちの良いところを見つけて、カードに記入して貼り出す取り組みや、感謝の言葉や楽しかったことを書いて相手に伝える取り組みを行っています。鴨方西小学校の廊下には「思いやりの水辺」という掲示物が貼ってありました。その内のいくつかを紹介します。

「Aさんへ いつも わらわせてくれて ありがとう。Aさんはひとをえがおにするのが とくいだね。」(2年生)

「Nさんへ いつも かえる前に まだよういのできていない人を まい日 気にしてあげていいとおもいました。これからさきも つづけて がんばってください。」(2年生)

「Yさんへ みんなが困っていたら だれにでも優しく助けてあげて すごいね!」(6年生)

鴨方東小学校でも・・・

「Kさんが きょうおにごっこに 入れてくれました。Tさんが このまえ みずをこぼしたとき、いっしょにふいてくれました。」(1年生)

「ほくは まえごろんだときに 3年生のMさんが「だいじょうぶ」といって、ほけんしつにつれていってくれました。そのとき、ほくはMさんがやさしいとおもいました。」(2年生)

1年生や2年生にも、素直で優しい感性が育っていると感じました。

また、六条院小学校では、下記のような横断幕を、児童玄関に張り出していました。

じんけん の あいことば

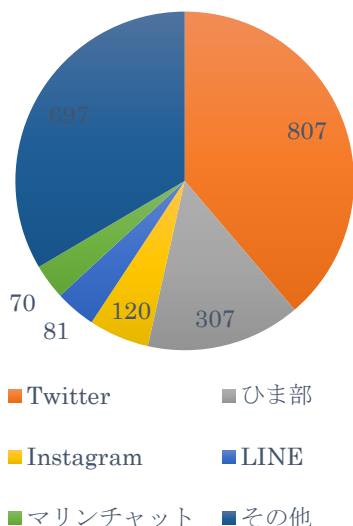
**な** なまえのよびかた「さん」「くん」つけて

**か** かんがえよう ともだちの きもち と かんじかた

**よ** よいことばづかいで ていねいに

**し** しない いわない いやがることは

サイト別の被害児童数



もうすぐ夏休み



いよいよ夏休みが始まります。

以前なら、海の事故や交通事故に気をつけましょう！と啓発するところですが、青パトで市内を巡回しても、最近では子どもの姿を見ることが極端に減少しています。子どもたちは、いったいどこで何をしているのでしょうか。憶測ですが、屋内でゲームなどをしたり、習い事に出掛けているのでしょうか。左図のようにネット上のいろいろなサイトで子どもたちは被害にあっています。長い夏休みは、家庭でのルール作りなどをして、いっそう被害防止に努めていただければと思います。